

----- (前回からの続き) -----

チアキ「さってと...次、やろうかな」

DOSのコマンド操作がちょっとずつ面白くなってきたチアキだった。車窓から見える美しい風景は眼中にない様子で、とくに冷めてしまった缶コーヒーを一口飲んでから、タイチからのリーフレットの続きを読み始めた。

タイチ『それでは、newdirディレクトリにtest.txtをコピーしてみましょう(*1)。この場合は"copy a b"のbにディレクトリの名前を指定します』

うーん...。bにディレクトリってことは、"copy test.txt newdir"なのかなあ？これもやってみるしかないか...

```
C:¥foobar>copy test.txt newdir
1 個のファイルをコピーしました.
```

チアキ「あっ！コピーしたっていつてる。でもどうなっているんだろう？」

チアキは、リーフレットの手順を納得しながら進めるのに、小気味がいいのか、つい独り言が口をついて出てくる。

タイチ『newdirディレクトリに移動して、ファイルの確認をします』

えっと、これは、DOSで確認しろってことよね。newdirにcdして、dirってやればいいのかよね。

```
C:¥foobar>cd newdir
C:¥foobar¥newdir>dir
```

(略)

.	<DIR>	04-04-07	09:05	.
..	<DIR>	04-04-07	09:05	..
TEST	TXT	58	04-04-07	09:10 test.txt
	1 個		58	バイトのファイルがあります.
	2 ディレクトリ	4,588.58		メガバイトの空きがあります.

DOSの画面にはnewdirの中にあるファイル一覧が表示されていた。

ふーん。newdirのところにtest.txtがあるから一応、コピーされているみたい。でも、きちんとコピーできているのかしら。バイト数は同じだけどね。慎重なチアキはtypeコマンドで内容を見て、コピーしたtest.txtそのもので

あることも確認した。完璧じゃん！

タイチ『次にこのtest.txtを親ディレクトリにコピーしたいのですが、親ディレクトリには既にtest.txtファイルがあるので、そのままコピーしてしまうと上書きになってしまいます』

なるなる。上のディレクトリに同じ名前のファイルがあるからね。でも、ちょっと頭の中が混乱し始めたから慎重に読み進めなきゃ。いつものノートの端にチアキが理解したファイルの位置関係を書きとめてみた。

```
C:¥foobar +- test.txt
           |
           +- newdir --- test.txt
```

頭の中でファイルの位置をイメージしながら、DOSのコマンドを打つのは慣れがいるよね。でも、図解してみるとそんなに大したことはないじゃない。チアキは納得した上で、タイチが書いた次の文章に目をやった。

タイチ『そこで、ファイル名を先に変更(リネーム)しておくことにします。DOSでファイル名を変更するにはrenコマンドを使います。
"ren a b"とすると、aのファイル名をbに変更できます。それではtest.txtをtest3.txtにリネームしてみましよう』

へえー。DOSにはファイル名を変更するコマンドなんてあるんだ。Windowsだとアイコンをマウスで右クリックして名前の変更とするか、F1キーで直接名前を変更するけど、それと同じことなのね。それで、renのaとbって、aが変更前でbが変更後ってことなのかな。

チアキ「すると、今回は"ren test.txt test3.txt"でいいのかな…。リーフレットには別段、気をつけてとも書いてないし…。実行しちゃえ！」

```
C:¥foobar¥newdir>ren test.txt test3.txt
```

あ、また、何も出ない。でも、ちょっとは慣れてきたんだからね。DOSのことだからうまく名前が変更されていても、別に表示しないってことなんだわ、きっと。

タイチ『C:¥foobar¥newdir>プロンプトが表示されるだけで、画面に変化はありません。しかし、ファイル名が変わっているはずです。dirコマンドで確かめましよう』

ほら、やっぱり。それで、dirで確かめればいいのね。dirっと。

```
C:¥foobar¥newdir>dir
```

(略)

```
.          <DIR>          04-04-07  09:05  .
..         <DIR>          04-04-07  09:05  ..
TEST3     TXT             58  04-04-07  09:10  test3.txt
          1 個             58 バイトのファイルがあります.
          2 ディレクトリ  4,588.58 メガバイトの空きがあります.
```

タイチ『きちんと改名されていますね』

チアキ「O K。test3.txtになってる。どんなもんだ。理解しちゃったみたい」

タイチからのリーフレットの文面はチアキの先回りをして、完全に状態を把握した様子で綴ってあった。まるで気のあった二人三脚のようにチアキには心地よかった。

タイチ『次にこのtest3.txtを親ディレクトリにコピーしてみます。親ディレクトリにコピーするには「..」を使います(*2)』

えっと、前に教えてもらった例の記号だ。"."が自分のディレクトリでカレントディレクトリというんだっけ。それで、今回の".."は一つ上のディレクトリで親ディレクトリっていうんだったわね。するともしかしたら....。

チアキ「"copy test3.txt .."ってのもあるのかな？」

さすがのチアキも今度は、恐る恐るコマンド入力して実行してみた。

```
C:¥foobar¥newdir>copy test3.txt ..
          1 個のファイルをコピーしました.
```

ええーっ！うまくいった！凄いよ、このコマンド。".."でもいいんだ。でも、こういう感じでコマンド入力できると、DOSのベテランのように思われそうで、ちょっぴり優越感！どれどれ、それで次は何？

タイチ『親ディレクトリに移って、dirコマンドで確認してみましょう』

チアキ「はいはい。任せて。"cd .."ね、きっと。そして、dirっと」

```
C:¥foobar¥newdir>cd ..
C:¥foobar>dir
```

(略)

```
.          <DIR>          04-04-05  12:13  .
..         <DIR>          04-04-05  12:13  ..
```

TEST	TXT	58	04-04-05	12:15	test.txt
TEST2	TXT	58	04-04-07	08:52	test2.txt
NEWDIR	<DIR>		04-04-07	09:05	newdir
TEST3	TXT	58	04-04-07	09:22	test3.txt
	3 個				174 バイトのファイルがあります.
	3 ディレクトリ				4,588.56 メガバイトの空きがあります.

チアキのDOSコマンド操作は確かで、画面には今までの操作結果のファイル一覧がずらっと表示されていた。

タイチ『この状態で、test3.txtファイルは、c:\foobarディレクトリとc:\foobar\newdirディレクトリの2箇所に存在します。混乱してきたらWindowsでfoobarフォルダとnewdirフォルダを開いてファイルを確認してみてください。位置関係がわかると思います』

チアキ「ちゃんとわかってますよ。Windowsを見なくてもね」

チアキはノートに図を書き始めた。こういうことよね。タイチ先輩。

```

C:\foobar +- test.txt
           |
           +- test2.txt
           |
           +- newdir --- test3.txt
           |
           +- test3.txt

```

タイチ『おつかれさま、チアキちゃん』

ふうー、ちょっと大変だったかなあ。でも、ばっちり理解できちゃった。自分がDOSコマンドを操ってることが信じられないよ。凄いじゃん、チアキ！

チアキの集中していた糸が切れた時、「お降りの方は…」っと車内放送が流れた。ヤダ。もう目的の駅が近くなってる。今日は打ち合わせに来たんだった。頭を切り替えなくっちゃ。チアキはノートパソコンとタイチからのリーフレットを大切そうにバッグにしまった。

駅からタクシーを乗り継いで、数十分後、タイチが元いた会社に到着した。

このTrueBios社はチアキが勤める会社のグループ会社という位置付けだが、チアキを交えたメンバーの打ち合わせは順調に進んだ。チアキが取りまとめるウェブデザイン部での作業の流れ、指揮系統、実績、トラブル・クレーム対処などをヒアリングされるような感じた。

クライアントの情報は守秘義務があるので、チアキは慎重に言葉を選びながら、日常の業務内容をわかりやすく説明した。なぜ、このような打ち合わせを必要としているのか、チアキにはまだわからなかったが、仕事をこなすことで手一杯だったし、気持ちは充実していた。

*

「飲みに行かない？」一日目の仕事の後、チアキは打ち合わせのメンバーから地元のお薦めの店に誘われた。明日も打ち合わせなので断ろうとしたが、せっかくの誘いに悪いので少しだけということで、店に向かった。

メンバーの話はタイチが在籍していた時の話になり、楽しそうに聞いていたチアキだったが、タイチとアキコの職場での雰囲気を感じ取られることに。

「タイチさんとアキコさんって、ホントよく仕事で言い争っていたよな」
「でも、確かにアキコさんって優秀だよな。俺たち歯が立たないもんね」
「それにグループ筆頭会社のJourWebDesign社からの出向だしさ」
「そうそう、タイチさんだけだったよね。対等にやり合ってたのって」
「タイチさんは中途採用だけど、あんまり社風は気にしないタイプで自分たちをカバーしてくれたよな。タイチさんのおかげで理不尽なスケジュールとかも減ったし、めちゃくちゃだった役割分担も整理できたんだよね」
「その意味ではアキコさんも厳しいけど分担はしっかりしていたんだよね」
「結局、似たもの同士ってことなんじゃない？」
「似ているから余計にああなるのよ」
「だから、意見が合うとすごく自然にいい感じで仲良かったもんな」

付き合っていたんですか…。何度も聞こうと思った言葉だったが、口に出せなかった。

「アキコさんだって、今回戻れてよかったんじゃないかな」
「連絡だってとっていたんだろ？」

DOSを教わったこと、喫茶店でのこと、出張先からのメール、休憩室での会話、深夜に掛かってきた電話、丁寧なリーフレット、書き込んでくれたノート…。

チアキ「なんだか、わからなくなっちゃった…」

いつもはアルコールを飲まないチアキのカクテルがすすんでいった。

*1 後に続くファイル名の変更を行わずに、コピーするときにファイル名を変えてしまう方法もあります。test.txtをtest3.txtとしてコピーするのなら「copy test.txt newdir¥test3.txt」とします。

*2 先にファイル名を変えておいたので、親ディレクトリに同じファイル名

はありませんが、敢えて違うファイル名で親ディレクトリにコピーする
のなら「`copy test3.txt ../test4.txt`」とします。

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2005 rpn hacks! All rights reserved